

令和2年度（2020年度）第3回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和2年（2020年）6月22日（月）14時40分～15時40分

場 所：熊本県立大学大会議室

出 席：学長	半藤 英明
副学長	堤 裕昭
事務局長	斉藤 浩幸
文学部長	鈴木 元
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
地域連携政策センター長	丸山 泰（リモート参加）
学術情報リサーチセンター長	北原 昭男（リモート参加）
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード （リモート参加）
文学研究科長	虹林 慶（リモート参加）
学校法人 九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社 熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
熊本県公立高等学校長会長	越猪 浩樹

監 事：公認会計士・税理士	河喜多 保典
弁護士	本田 悟士

事務局：手島事務局次長、三隅教務入試課長、丸山総務課長、松永企画調整室長、尾方教務入試課教務班長

1 開会

2 学長挨拶

3 議事審議事項

① 教員採用に係る枠取りについて

文学部から資料1に基づき説明。

今回の教員採用は、専門分野を日本芸能文化論とし、転出者の補充と同時にジャパニスタディの強化を図るもの。前任者の担当は日本思想史だが、教養科目の隣接分野であり、本学の中期目標である国際教育を推進し、学科を強化する点で、英語による日本文化の発信ができる人材を求める。また、日本文化研究の中でも学問的蓄積のある芸能研究の領域であるが、古典芸能に限定した専門ではなく、現代のサブカルチャーにつながる幅の広さと柔軟性のある人材でかつ英語で発信する力を持った人材を期待している。

環境共生学部から同資料に基づき説明。

本学は公衆栄養学分野についての補充である。管理栄養士・栄養士の養成施設とし

て認可を受けており、そのために1人以上の管理栄養士又は管理栄養士と同等の知識及び経験を有する専任者が必要である。また狭い領域なので学位をもった方に限るものでなく、様々な実習を指導していただく必要があるため、管理栄養士の資格を持ち実務経験を積んだ方で様々な政策立案の経験を持った方を期待している。また、本学での人材育成を行うなど、大学院の分野も担当してもらう予定。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 平成31年度（2019年度）業務実績の自己点検・評価等について

事務局企画調整室から、資料2-1、2-2に基づき以下の説明。

平成31年度業務実績の自己評価(案)の概要については、50項目のうち、S評価が1項目、A評価が48項目、B評価が1項目となっている。S評価とA評価の合計が49項目であり、全体の94%であることから、順調に実施できたと総括している。平成31年度業務実績について、まず、「自己点検・評価」は、「平成31年度業務実績に係る自己点検・評価報告書」にまとめ、本日の審議をえて、経営会議、理事会で審議した後、結果を公表するとともに、内部質保証推進委員会に提出する。次に監事監査は、既に監事監査を受け、監事から承認する旨の監査報告が提出されたので、「平成31年度業務報告書」を財務、決算に関する書類とともに県へ提出する。最後に、法人評価は、本日の審議資料に基づき「平成31年度業務実績報告書」を作成して県の法人評価委員会へ提出する。

審議の結果、案のとおり承認した。

③ 認証評価結果（平成28年度受審）に対する「改善報告書」について

事務局企画調整室から、資料3に基づき説明。

平成28年度に大学基準協会の評価を受審、評価結果として指摘された事項3点について今年度7月に改善報告書を提出するもの。これまで関係部局・委員会等で改善の対応を行い、令和2年2月以降、改善報告書を作成し、学内の自己点検・評価委員会において、6月に書面決議したもの。

指摘事項の内訳は改善勧告が1、努力課題が2。

改善勧告は、環境共生学部において、大学設置基準上必要な専任教員数が1名不足。当時、急遽年度途中における教員の退職希望の結果の不足数。翌4月には新たな教員が着任し、以降、現在まで基準を適切に満たしている。

努力課題の1つは、大学院アドミニストレーション研究科の後期カリキュラムに関するもの。当時のカリキュラムが特別演習（コースワーク）と特別研究（リサーチワーク）が不明瞭であったことから関係規程の改正等含め平成31年度から新カリキュラムを開始。

努力課題の2つ目は、履修登録単位数の上限設定。環境共生学部の食専攻を除く全学部でキャップ制（単位数の上限設定）を行うため、学内で検討を行い、令和2年度から施行している。

審議の結果、案のとおり承認した。

④ 熊本県立大学未来基金の新型コロナウイルス感染症防止対策に係る寄附金の受入れについて

企画調整室から資料4に基づき説明。

今般の新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、学生に対する支援、本学の未来基金の特定目的寄附金に「新型コロナウイルス対策枠」を新たに設け、寄附を受け入れ、学修環境の充実に支出するもの。学生の遠隔授業用のタブレット購入等、随時ホームページ等で公表。

募集方法については、他の寄付と同様、クレジットカードやコンビニ、ペイジーでの払込も受け付ける。なお、期間は当面の間とする。

審議の結果、案のとおり承認した。

(2) 報告事項

- ① 熊本県立大学未来基金平成31年度収支状況等について
- ② 令和2年度新入生アンケートについて
- ③ 教育の質保証に係る改善策の企画・調整について

4 その他

次回日程 令和2年度(2020年度)第4回 7月13日(月)午前10時～
本部棟2階 大会議室

5 閉会